

リツキシマブ+トリアキシンの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2日目	3日目	4～28日目
吐き気止め	お休み	 30分	お休み	お休み
トリアキシン (ベンダムスチン) mg	お休み	 60分	 60分	お休み
リツキシマブ (リツキシマブ) mg	 注1	お休み		

注1
初回は点滴速度50mL/時間より開始。問題なければ30分毎に50mL/時間ずつ上げていきます。
2回目以降は100mL/時間で開始し、その後体調に変化がなければ30分毎に100mL/時間ずつ上げていきます。

インフュージョン・リアクションを予防するお薬

リツキシマブ投与 30分前にお飲み下さい。

- ・カロナル錠 200mg 2錠
- ・レボセチリジン錠 5mg 1錠

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

＜血液検査からわかる副作用＞

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。



＜ご自身でわかる副作用＞

インフュージョン・リアクション

初回の点滴時にもっともおこりやすい症状です。点滴中に『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

便秘

便が硬くなって排便しづらくなることや、お腹が張ることがあります。

⇒便を軟らかくしたり、腸を動かすような薬を使って排便をうながします。

皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをとまうことがあります。症状が強くなった場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

発熱

抗がん剤点滴中～点滴後、一時的に熱が出るがあります。点滴した日の翌日までに出ることが多いです。

⇒必要に応じて解熱剤を使うことがあります。主治医の指示に従って服用して下さい。

血管痛・静脈炎

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずにスタッフに声をかけて下さい。



★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（敗血症）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしただけで息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。